

学校教育目標	ふるさと伊目の光となれ
--------	-------------

子供と教師が目指す子供像	○仲間と共に本気で学ぶ子 ○元気いっぱい自分らしさを発揮する子 ○勇気をもって挑戦する子 ○根気よく続ける子	目指す子供像	気力あふれる伊目っ子
--------------	---	--------	------------

めざす子供像を実現するための今年度の経営の重点	知【確かな学力】 ・効果的なICTの活用 ・自分で考えて進める家庭学習 ・見通しをもって主体的に学習に取り組む	徳【豊かな心】 ・自分の気持ちや思いを伝え合う ・いつでも誰にでも進んで挨拶	体【健やかな体】 ・健康で安全な生活習慣 ・楽しく運動 ・自分の身は自分で守る
-------------------------	---	---	---

【キャリア教育の全体目標】			
〈育成すべき基礎的・汎用的能力〉			
他と関わる本気	自らを律する元気	立ち向かう勇氣	計画し、続ける根気

児童評価 A…85%以上 B…70%以上 C…50%以上 D…35%以上					
評価項目	そう思う、 だいたい そう思う	自己 評価	評価項目	そう思う、 だいたい そう思う	自己 評価
～教育目標「ふるさと伊目の光となれ」～ 伊目が大好きだ。	98.4%	A	自分の考えや思いを友達に伝えることができる。	92.1%	A
勉強や生活の中で、自分の決めた目標や自分がやりたいと思うことに進んでチャレンジしている。	96.8%	A	学習内容が分かるように自分なりに工夫して考えたり、学習や宿題にねばり強く取り組んだりしている。	95.3%	A
楽しく、安心して学校に通っている。	95.2%	A	たくさんの本を読んでいる。	66.7%	C
友達をいじめていない。	96.8%	A	自分の分からないことを進んで調べたり、学習内容を分かりやすくまとめたりするためにクロムブックを使っている。	84.2%	B
勉強や生活で困っているときに、すぐに先生に相談することができる。	87.1%	A	休み時間には、進んで外で遊んでいる。	84.2%	B
いつでもどこでも進んであいさつをしている。	90.5%	A	手洗いやうがいを進んでするなど病気になるないように気を付けて生活している。	96.8%	A
授業が楽しい。	98.5%	A	道路を歩くときや自転車に乗るとき、学校生活の中で、けがや事故にあわなように気を付けている。	100%	A

保護者評価 A…85%以上 B…70%以上 C…50%以上 D…35%以上					
評価項目	そう思う、 だいたい そう思う	自己 評価	評価項目	そう思う、 だいたい そう思う	自己 評価
子どもたちは「ふるさと伊目」を愛し、地域や三世代交流事業の行事に積極的に参加している。	97.5%	A	子供たちは進んで読書に取り組んでいる。	72.5%	B
子供たちは、勉強や生活の中で、自分の決めた目標や自分がやりたいと思うことに進んでチャレンジしている。	100%	A	子供たちは、自分の分からないことをパソコンやタブレットを使って進んで調べている。(家庭での様子から)	90%	A
子供たちは、楽しく、安心して学校に通っている。	97.5%	A	子供たちは、進んで外遊びや運動に取り組んでいる。	92.5%	A
子供たちにとって学校は、いじめのない学校、学級、集団となっている。	95%	A	子供たちは、手洗いうがいを進んでするなど、病気にならないように気を付けて生活している	80%	B
子供たちは、勉強や生活で困っているときに、先生や親、友達等に相談することができる。	92.5%	A	子供たちは、けがや事故に気を付けて生活している。	100%	A
子供たちは、いつでもどこでも進んで挨拶している。(家庭・地域の様子から)	80.5%	B	学校・PTA・地域が協力して学校行事に取り組んでいる。	100%	A
子供たちは学習意欲をもって、楽しく授業に参加している。	100%	A	学校は、便りやホームページ、その他の方法で情報を発信している。	100%	A
子供たちは、自分の考えや思いを友達に伝えることができる。	95%	A	学校は、保護者や地域の話に耳を傾け、相談しやすい雰囲気がある。	95%	A
子供たちは課題に対して自分なりに工夫して考えたり、学習や宿題に粘り強く取り組んだりしている。	97.5%	A			

教職員評価
概ね子供たちの成長を評価しているが、「進んで挨拶」、「怪我に気を付けて生活」の項目でもっとできるのではないかという声があった。

自己評価の考察
学習面では、進んで読書をしたり、自分から分からないことを調べたりすることを苦手とする児童が多かった。また、自分の健康を守るために怪我に気を付けて落ち着いて生活することができるようにしていく必要がある。

学校関係者評価の結果（令和7年1月31日 第4回学校運営協議会）
<p>【子供の意欲、やる気を高めるための手立てについて】 学級の温かなよい雰囲気づくりが大事になる。子供の実態に即して無理はしないで取り組んでほしい。読書については日課に位置づけられているが、読書を通して想像力を育てていくよう、今後も子供たちに働き掛けてほしい。</p> <p>【挨拶いっぱい伊目っ子への手立てについて】 昨年度よりは挨拶するときの声は大きくなったが、もう少し元気よい挨拶ができるといい。しかし、コロナの影響もあったと思うので、少しずつ挨拶の気運が上がればよいと思う。</p> <p>【いじめについて】 先生方には子供たちに声掛けをしたり見守ったりして、子供たちが楽しい学校生活を送れるよう引き続き、配慮してほしい。</p>

次年度に向けての改善方策
<p>いじめに関しては、令和6年度の間「伊目小学校いじめ防止基本方針」の見直し、修正を行う。また生活アンケート（いじめアンケート）を月1回行い、いじめの早期発見に努めるとともに、児童相談日として児童の話を積極的に聞く場を設ける。小規模校という伊目小の特徴を生かして、一人一人の変化を複数の職員で見守っていく。</p> <p>読書への取り組みとしては、図書担当が蔵書を確認し、魅力的な学校図書館を目指すべく本の入れ替え作業をしている。また保護者ボランティアによる読み聞かせや委員会によるイベントを行い、本に親しむ経験を増やしていく。</p> <p>挨拶については、教職員と児童会の両面から挨拶運動を行っていく。</p> <p>怪我や病気の予防に関しては、委員会を利用し、廊下を走らないことや手洗いうがいを励行するなど、児童同士で呼び掛けていく活動を行う。また、全職員が共通認識をもち、同一歩調で児童への声掛けをしていく。</p>